

講師：SL&A Japan Inc. 株式会社Athena

# 2025年度 オフィスデザイナー講座

## 【一般社団法人ニューオフィス推進協会発足以来 30年以上にわたり行っている歴史ある講座】

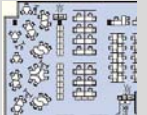
講義だけではなく、プレゼンテーション、ディスカッション、最新のオフィス事例視察(オフィス見学)を同時開催。

他社社員の中での自分の仕事の進め方の長所、短所に気づき、また、他社の参加者と交流することで、会社を超えるネットワークを構築することで将来大きく成長するきっかけともなります。

専門知識を研鑽する社員の教育として、30年以上にわたり多くの企業から申し込みをいただいておりますので、是非、ご検討下さい。

### ◆演習・講義の講師：SL&A Japan Inc. (注1) 株式会社 Athena 代表 (注2)

- ・国内外の最新のオフィスデザインの潮流、最新のオフィスデザイン手法等の紹介を交え、具体的な課題の実施プラン作成指導
- ・デザインコンセプト、ゾーニングからレイアウトプランまでの作成をマンツーマン(少数グループ)の指導とデザインシュレツト(プレゼン、評価)の繰り返しにより行う。作業は、手書き+PCを用い最終的に、少数グループでのプレゼン発表、参加者とのディスカッションによる他者比較、講師による講評、評価フィードバック、そして実際のオフィス見学を行い、プログラミング、プランニングの手法を研鑽し、実業務のスキルアップを図る。



#### (注1) SL&A Japan Inc.

インテリアデザイン及び建築設計事業をグローバルに展開しているスティーブン・リーチ・グループの日本支社。1973年に香港にて故スティーブン・リーチ氏によって設立され、現在は東アジア9ヶ国の拠点に総勢300人以上の規模を誇る。東京オフィスは1993年に設立され、オフィスデザインの他、店舗、ショールーム等、様々な分野へデザインのフィールドを拡大している。コーポレートデザインとは、クライアントの企業アイデンティティを体現し、ビジネスの方向性に沿うものであるべきと考え、進化するワークプレイスの一歩先を見据えたコンサルティングを得意とする。

#### (注2) 北村紀子 株式会社 Athena 代表

ワークプレイス戦略 / インテリアデザイナー

ワークプレイスに特化した設計会社SL&A Japan代表として16年活動。2025年に独立、Athena設立。

国内外で培った経験を活かし、企業のビジョンの体現し成長を後押しするワークプレイス構築をサポートする。



## ◆講座概要

- (1) 対象：オフィスデザイナー・オフィスプランナーなど実務でオフィス構築に、数年間携わっておられる方
- (2) 目的：オフィスデザインに関するステップアップ、実践力養成
- (3) 講師：株式会社Athena代表 北村紀子  
SL&A Japan Inc. デザインマネージャー 八巻祐大 他
- (4) 募集人数：36名(定員) 少人数での懇切丁寧な指導を行い、また参加者同士の交流も図ります
- (5) 応募締切日：2026年1月30日(金)
- (6) 開催期日：2026年3月10日(火)～3月13日(金) の4日間
- (7) 開催場所(講義)：こくほ21ビル(2階会議室)  
東京都新宿区市谷田町2-29 こくほ21ビル 2階 TEL 03-3269-4778
- (8) 受講料：ニューオフィス推進協会(NOPA)会員様77,000円、非会員様 88,000円
- (9) 必須器具等：※受講の際 受講者自身でご用意いただきます  
①ノートパソコン(各自作業(素材集め、レイアウト編集)の際は、会場に準備したディスプレイへ接続)  
②モバイル環境(プレゼンに必要なイメージ集め等で必要、各自ネット環境を準備ください)
- (10) 予定カリキュラム：次頁参照

### ◆講座の詳細及びお申込：下記 ホームページより

<http://www.nopa.or.jp/course/design/index.html>

### ◆お問い合わせ先

ニューオフィス推進協会 松本正志(マツモトタダシ) まで

〒104-0043 東京都中央区湊2-4-1 TOMACビル3F TEL:03-3553-3471



▲ 詳しくはこちら

# 2025年度 オフィスデザイナー講座

## ◆予定カリキュラム

講師によるオフィスデザイナーに問われる姿勢や、共通する問題の取り組み方の講習。

レイアウト構築に重点を置いた課題演習。成果物をプレゼンする『デザイン・シュレット』といわれる演習。

(少数グループが、全員の前で成果をプレゼン形式で発表し、講師、参加者がコメントを行い、プランを研鑽していきます。)

カリキュラムでは「オフィスの可能性を探る対話」に注力した「真の課題解決」手法を講師の実体験と、受講者による実演習を通じ身に着けていただきます

※下記カリキュラムは、予定ですので変更する場合があります。また、講座の進行により当日変更される場合もあります。

1日目	PM	オフィスデザイン最新プロジェクト事例紹介・課題実習
2日目	AM	オフィスレイアウトについて・課題実習
	PM	ユーザー参加型オフィスデザインの進め方・課題実習
3日目	AM	デザインシュレット・課題実習
	PM	課題演習(仕上げ)
4日目	AM	課題演習(各自プレゼンテーション)
	PM	総評・オフィス見学(予定)

## 「ワークプレイスに何が求められているのか？」

リモートワーク中心の働き方を経験したことで、通勤時間がなくなり家族と過ごす時間が増えるなど、新たなポジティブな価値が生まれました。

その一方で、クライアントや同僚との熱量のあるディスカッションや、偶然の出会いから得られる刺激といった“リアルな場”としてのオフィスの良さも改めて見直されました。

今、リモートワークと物理的コミュニティのバランスをどのように取るかが重要なテーマとなっています。

その中で、ワーカーが「行きたくなる」ワークプレイスとは、以下のポイントを踏まえつつ、企業それぞれの目的や文化を反映したカスタムメイドの空間として実現させるものだと考えます。

- 心身の快適性を高める、心地よいオフィス
- リアルにつながることで共感と相互作用を生むオフィス
- 偶然の出会いやコミュニケーションから刺激を受けるオフィス
- リモートワーク以上に集中しやすい環境を選べるオフィス
- ハード設備やネット環境の充実で、安心と効率性を両立するオフィス

こうした“ポジティブな未来に向かっていくという実感”をともなうオフィスを構築するために、私たちはクライアントとの丁寧な対話やアンケートを通じて、その企業ならではの価値を引き出す設計プロセスを大切にしています。

本講座では、そのオフィス設計の最初のステップを紹介します。

より良いオフィスへの一歩は、より良い対話から始まります。